

令和6年度 鹿児島市 CKD 予防ネットワーク報告書

目次

1. ネットワークの稼働状況(p2～)
 - ①CKD予防ネットワーク概要図
 - ②新規透析患者数
 - ③CKD登録医・腎臓診療医
 - ④CKD登録薬剤師
 - ⑤令和6年度 CKD登録医・未登録医受診者数の報告(様式0)
 - ⑥令和6年度 腎臓診療医受診者数の報告(様式3)
 - ⑦保険者別CKD抽出者数の経年的推移
2. 協力団体の取組み(p10～)
 - ①国民健康保険課
 - ②協会けんぽ
 - ③長寿支援課・長寿あんしん課
 - ④鹿児島県看護協会
 - ⑤鹿児島県栄養士会
 - ⑥鹿児島糖尿病療養指導士会
 - ⑦鹿児島市薬剤師会
3. 鹿児島大学の取組み(p18)
4. 健診機関からのご報告(p19～)
 - ①ヘルスサポートセンター鹿児島
 - ②県民総合保健センター
 - ③鹿児島厚生連病院 健康管理センター
5. 鹿児島市保健政策課(事務局)の取組み(p22～)

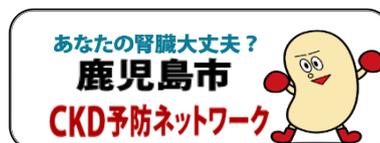


図1



鹿児島県の「人口10万人当たりの新規透析導入患者数」は、令和4年は32.8に増加し、令和5年は30.5と減少したが全国値を上回っています。また、新規透析導入患者数のうち約4割が糖尿病性腎症を原疾患としています。関係職種の皆様におかれましては、本市のCKD予防ネットワークに理解を深めていただきネットワークが円滑に運用されることで、CKDの重症化予防につながっていくと考えています。さらに、早期対応においては、原疾患である糖尿病、高血圧等の生活習慣病の発症予防、健診受診(二次健診含)も大切です。

今後ともご理解、ご協力のほどお願いいたします。

(CKD予防ネットワークプロジェクト会議事務局)

図2

本県・全国の新規人工透析患者数の推移(人口10万対)

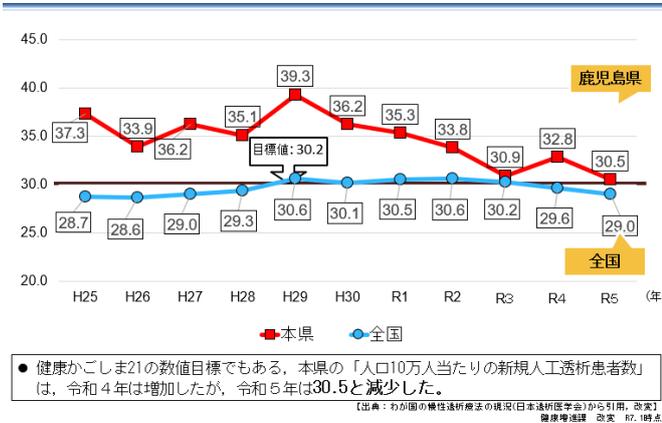


図3

本県の原疾患別の新規透析導入患者数の推移

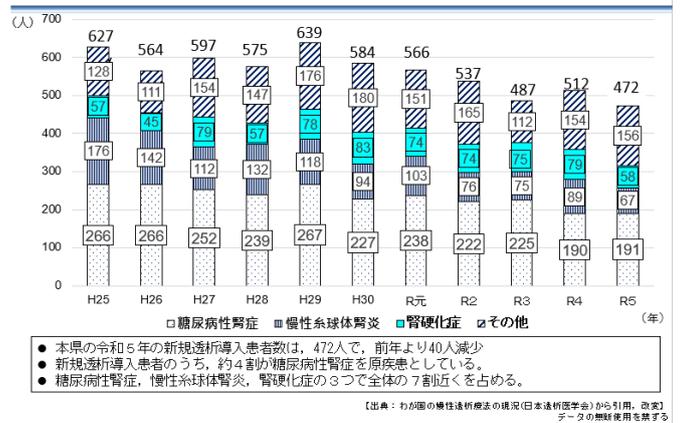


図4

都道府県別にみた人口1人当たり国民医療費(R4年度)

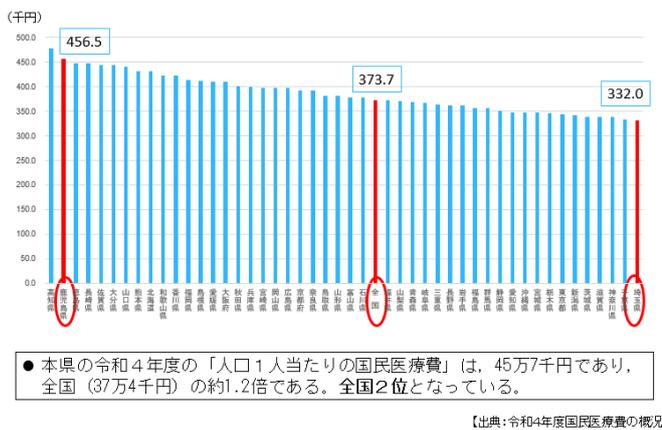


図5

全国、本県の生活習慣病の受療率(R5年)

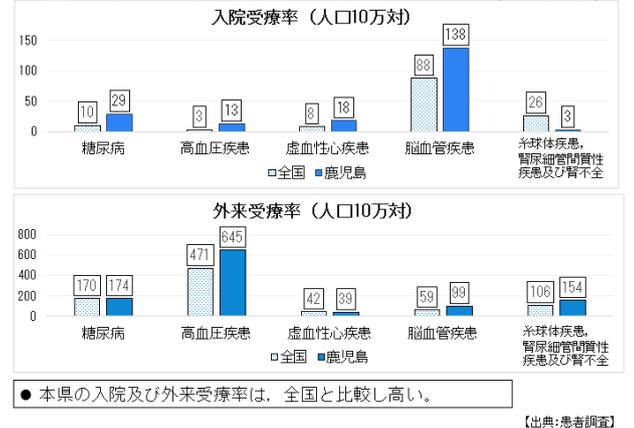
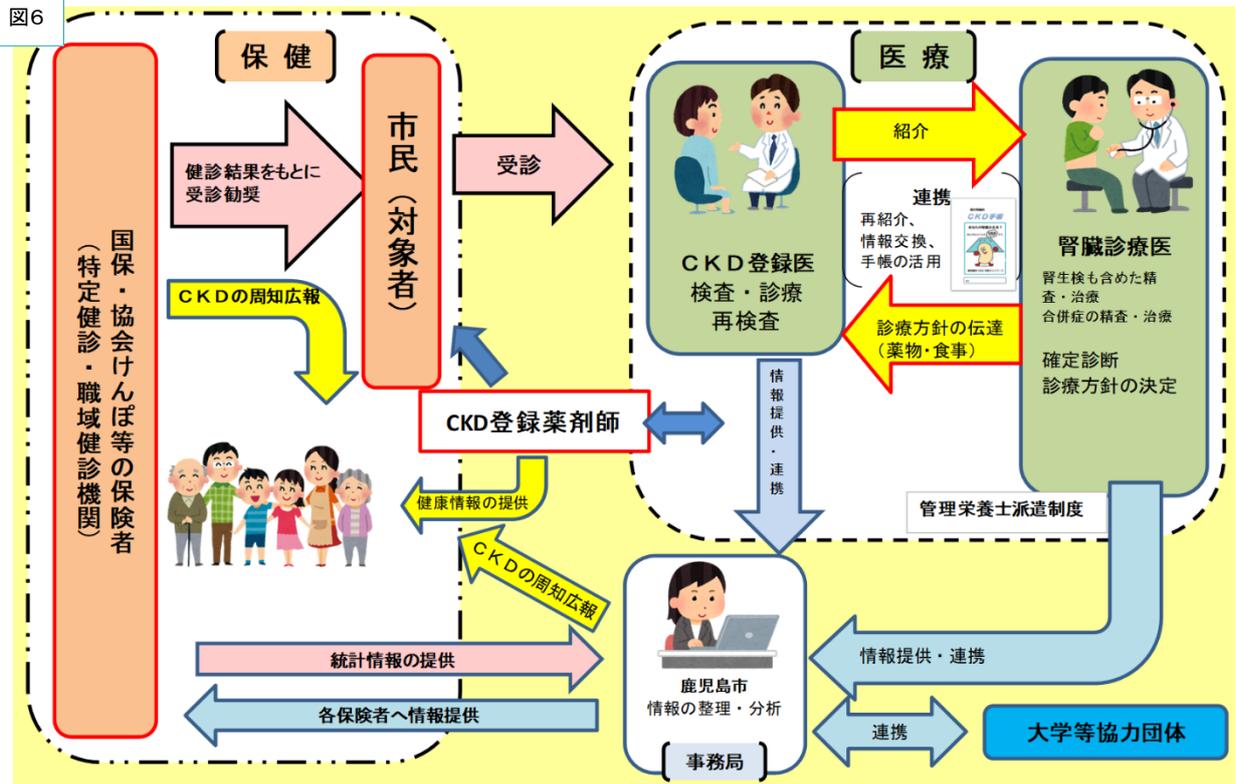


図2-5:鹿児島県健康増進課資料

1. ネットワークの稼働状況

① CKD 予防ネットワーク概要図

CKD 予防ネットワークは、糖尿病や高血圧などにより発症する CKD の重症化を予防するため、CKD 登録医と腎臓診療医が連携して診断・治療方針に関する情報提供を行う医療ネットワークです。



病診(診診)連携の運用により、初期の患者を見落とさず、適切な医療に導くことで、CKDの重症化を予防するとともに、人工透析の新規患者や心血管疾患の減少及び医療費の抑制を図ることを目的としています。

CKD 登録医・・・「CKD登録医」は、患者に対して必要な検査を行い、腎機能が「紹介基準」に該当する患者を「紹介シート」により「腎臓診療医」に紹介する。

腎臓診療医・・・「腎臓診療医」は、「CKD登録医」等から紹介のあった患者に対して、必要な検査や腎機能の評価等を行い、今後の治療方針等を「返信シート」等により「CKD登録医」へ返信する。

CKD 登録薬剤師・・・基本的に「服薬者≒CKD高リスク者」という事実を認識し、CKDステージ判定に基づく腎障害予防に努める。

(CKD病診薬連携・健診へのかかわり・関係機関との連携)

② 新規透析患者数

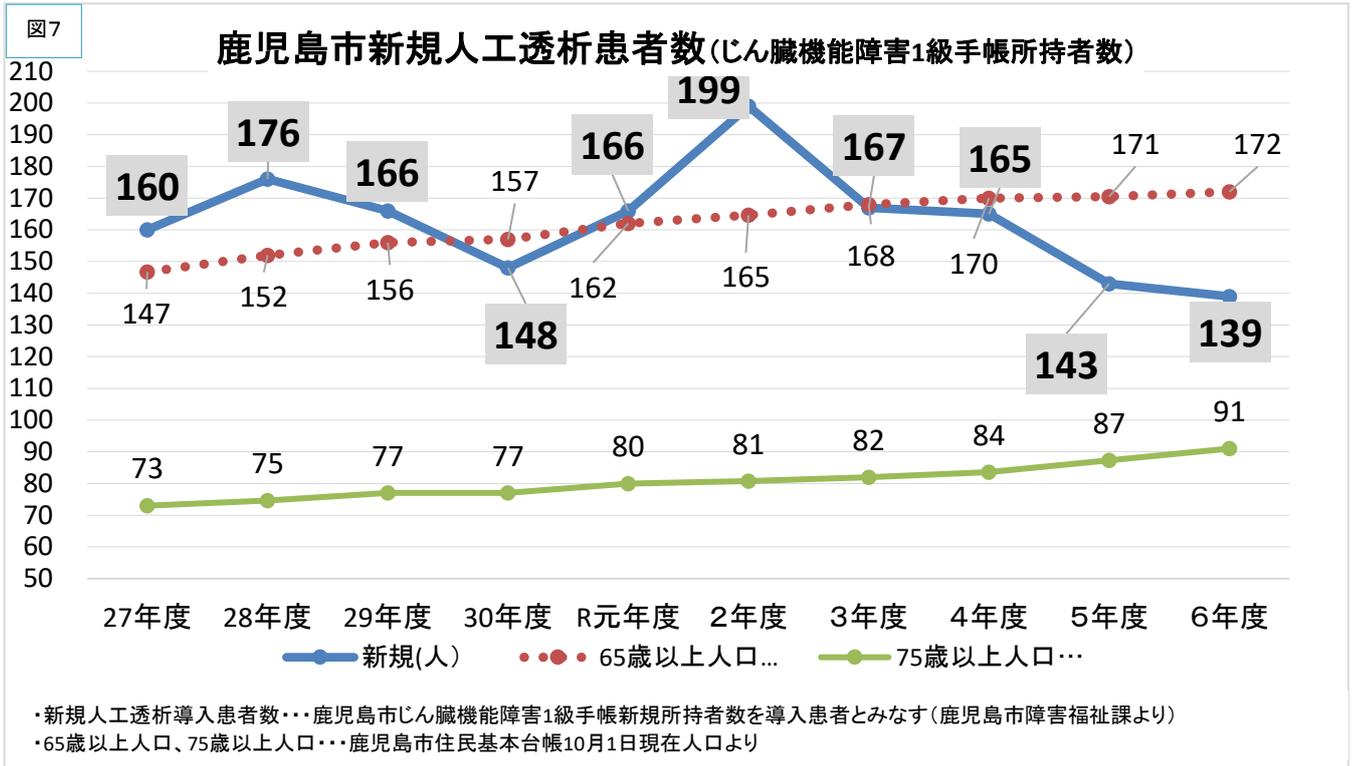


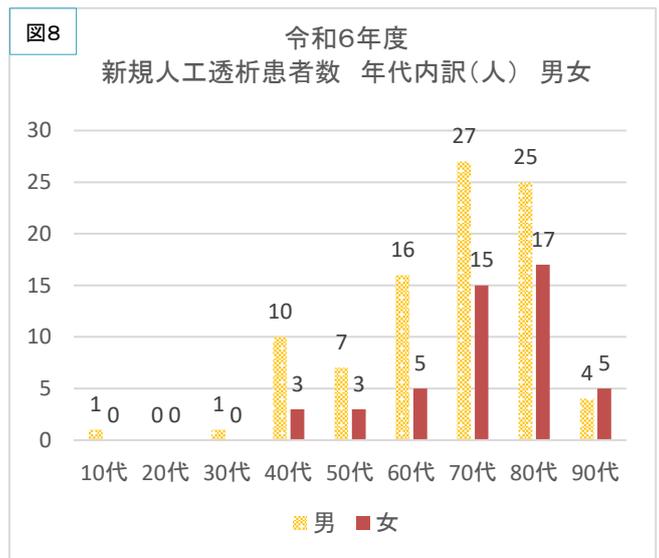
表1

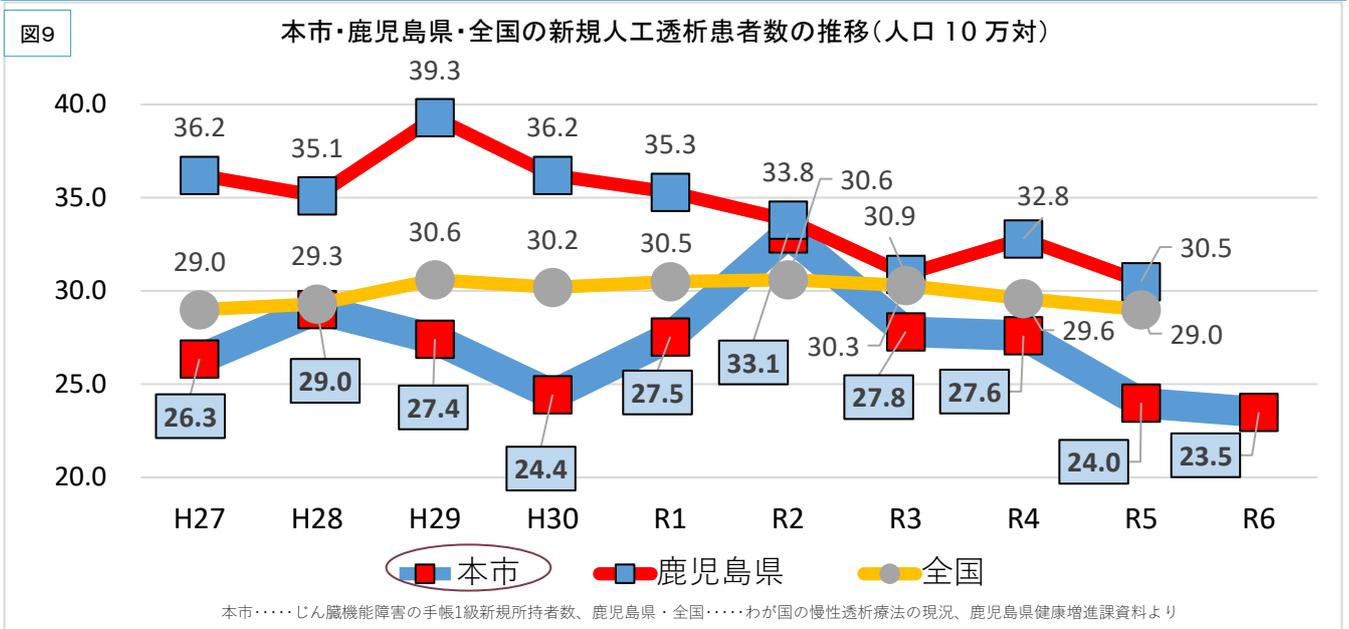
	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
新規(人)	160	176	166	148	166	199	167	165	143	139
65歳以上人口(千人)	147	152	156	157	162	165	168	170	171	172
75歳以上人口(千人)	73	75	77	77	80	81	82	84	87	91

表2 新規人工透析患者数年代内訳 (じん臓機能障害の手帳1級所持者数) (人)

年代	R6年度			R5年度			R4	R3
	男	女	計	男	女	計	計	計
10代	1	0	1	0	0	0	1	1
20代	0	0	0	1	0	1	0	1
30代	1	0	1	2	0	2	2	4
40代	10	3	13	6	3	9	8	7
50代	7	3	10	14	4	18	27	22
60-64	5	0	5	4	8	12	13	21
65-69	11	5	16	18	5	23	20	26
70-74	14	8	22	17	6	23	24	20
75-79	13	7	20	18	4	22	25	27
80代	25	17	42	24	8	32	38	35
90代	4	5	9	1	0	1	7	3
合計	91	48	139	105	38	143	165	167
平均年齢(歳)	70.33	76.44		69.51	68.53			
	72.44			69.25				
国透析患者情報	-	-		70.93	73.12			
	-		※国透析患者情報	71.59				

※わが国の慢性透析療法の現況(2023年12月31日現在)





新規透析患者数(図7)は、高齢者数は増加の一方、令和6年度は、139人で前年度と比較し減少しました。年代性別内訳からは、70歳代・80歳代、60歳代の順で男性が多く、65歳以上の高齢者が78.4%を占めます。令和6年度透析開始の平均年齢は、72.44歳でした。平均年齢は上がっており、令和5年度と比較し、80歳以上の新規透析患者数が増加しております。

③ CKD 登録医 (R7.3 末)

・CKD登録医 327人 225医療機関 (令和5年度 324人 223医療機関)

※特定健診実施医療機関 303カ所 (R7.3現在)

④ 腎臓診療医 (R7.3 末)

・腎臓診療医 33人 20医療機関 (令和5年度 34人 21医療機関)

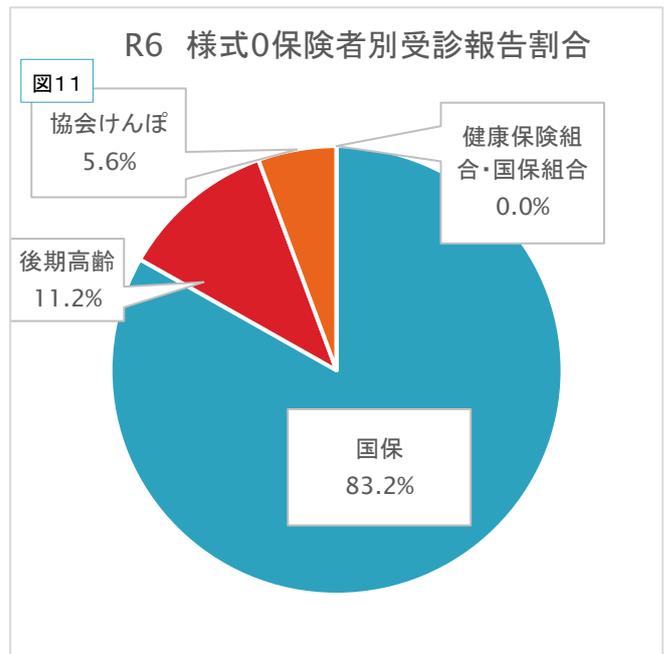
内訳:腎臓専門医 4人、透析専門医 13人、腎臓専門医+透析専門医 16人

⑤ CKD登録薬剤師 (R7.3 末)

・CKD登録薬剤師 148人 70薬局 (令和5年度 69薬局 146人)

※市内薬局数 347薬局 (R7.3現在)

⑥ 令和6年度 受診者数の報告(様式0:登録医→事務局)



※(鹿児島市国保では H30 年 10 月から、かかりつけ医からの紹介基準を変更し(CKD 診療ガイドライン 2018 にて示されたことによる)、平成 30 年度以降は大幅に増加しています。)

表5 報告内容 (件数・割合)	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	総計
登録医からの報告 非該当・該当数	273	293	6	3	83	274	10	18	960
報告全体数からの割合	47.5%	51.0%	1.0%	0.5%	21.6%	71.2%	2.6%	4.7%	
	575 59.9%				385 40.1%				
未登録医からの報告 非該当・該当数	76	122	2	5	35	124	3	9	376
報告全体数からの割合	30.1%	65.9%	2.9%	1.1%	14.3%	79.2%	1.3%	5.2%	
	205 54.5%				171 45.5%				
総計	349	415	8	8	118	398	13	27	1,336
非該当・該当 数・割合	780 58.4%				556 41.6%				
	44.7%	58.4%	1.0%	1.0%	21.2%	71.6%	2.3%	4.9%	

- 【非該当】 ①再検査で異常なし ⇒ 健診で経過観察
 ②自院で経過をみる。
 ③自院以外の、患者のかかりつけ医で経過をみる。
 ④その他
- 【該当】 ⑤腎臓診療医()病院()先生へ紹介
 ⑥患者の意向により、自院で経過をみる。
 ⑦患者の意向により、他院(腎臓診療医以外)で経過をみる。
 ⑧その他

様式0の受診報告者数は、令和6年度は1,336件でした。

受診者の内訳をみると約83.2%が国保で、11.2%が後期高齢者医療でした。後期高齢者の割合は、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業が令和3年度より開始したことにより、令和2年度1.7%でしたが、年々

増加しております。再検査の結果、紹介基準に「該当」となる方は 41.6%です。

紹介基準が該当した対象者の腎臓診療医への紹介率は令和5年度 19.6%で年々低下していましたが、令和6年度は 21.2%と増加しています。専門医に紹介せずとも登録医での継続治療で良いと判断されたケースの可能性も考えられますが、登録医(かかりつけ医)と腎臓診療医の連携や、患者さんの理解促進をすすめることも必要ではないかと考えます。さまざまな職種(コメディカルスタッフ)が機会をとらえて CKD 予防の重要性について伝え、「CKD」は多職種が協働して患者を支援する連携疾患であることを認識して治療にあたっていただければ幸いです。また事務局として、未登録医に対して登録いただけるよう勧奨に努めます。

⑦ R6年度 受診者数の報告(様式3:腎臓診療医→事務局)

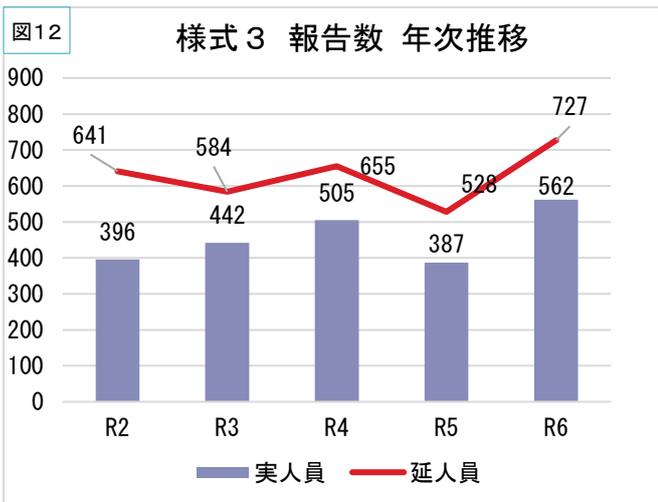
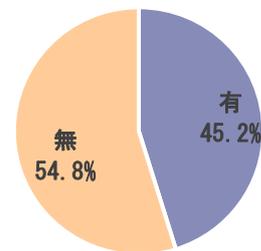


図13 R6 CKD登録医(かかりつけ医)からの紹介の有無

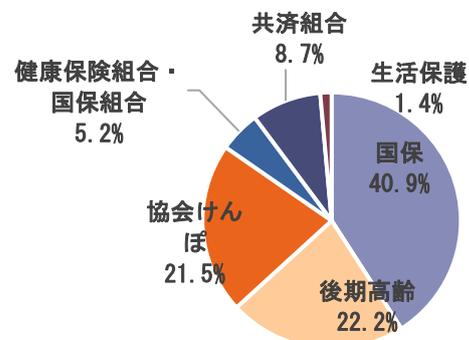


腎臓診療医からの様式3の報告者数は昨年度よりも増加し、実人数 562 人、延人数 727 人でした。紹介有無については、直接、専門医へ受診するケースが 54.8%でした。

保険者別割合は、前年度と比較し、国民健康保険医療が 45%から 40.9%へ低下していました。

また、40 歳未満の様式3の報告者は 42 人でした。

図14 R6 様式3 保険者別受診報告割合



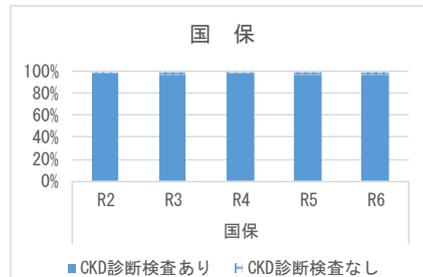
⑧ 保険者別 CKD 診断検査実施数の経年的推移

CKD 検査の有無について

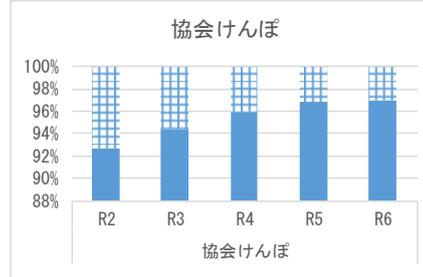
県民総合保健センター

*「CKD診断検査あり」とは、尿蛋白検査に加えて eGFR の記載と、尿潜血検査の記載がある方になります
巡回健診と施設健診との合計

保険者	国保				
年度	R2	R3	R4	R5	R6
CKD診断検査あり	13,172	13,971	13,394	14,029	13,298
CKD診断検査なし	312	348	318	506	403
総数	13,484	14,319	13,712	14,535	13,701



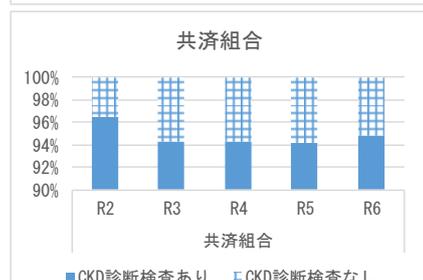
保険者	協会けんぽ				
年度	R2	R3	R4	R5	R6
CKD診断検査あり	9,085	8,700	9,378	9,403	9,688
CKD診断検査なし	723	515	392	303	304
総数	9,808	9,215	9,770	9,706	9,992



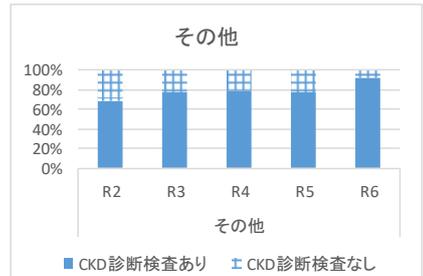
保険者	組合健保				
年度	R2	R3	R4	R5	R6
CKD診断検査あり	1,295	1,289	1,218	1,337	1,857
CKD診断検査なし	1,261	1,355	1,386	1,550	1,131
総数	2,556	2,644	2,604	2,887	2,988



保険者	共済組合				
年度	R2	R3	R4	R5	R6
CKD診断検査あり	2,259	2,053	1,932	2,042	1,810
CKD診断検査なし	82	125	116	127	100
総数	2,341	2,178	2,048	2,169	1,910



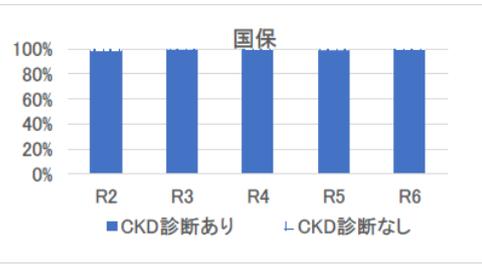
保険者	その他				
年度	R2	R3	R4	R5	R6
CKD診断検査あり	13,463	16,880	15,993	17,208	16,357
CKD診断検査なし	5,975	5,060	4,331	5,073	1,390
総数	19,438	21,940	20,324	22,281	17,747



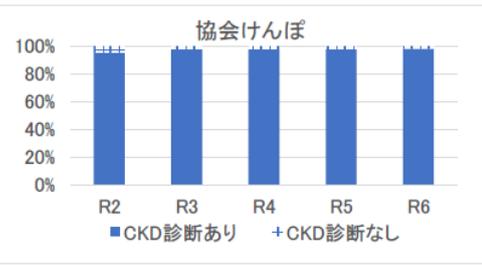
ヘルスサポートセンター鹿児島

CKD 検査の有無について

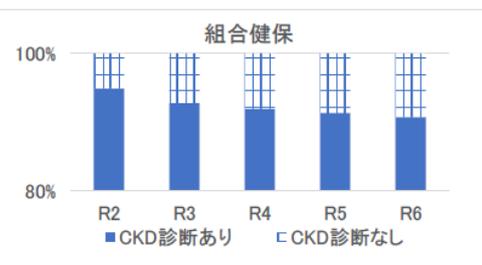
保険者	国保				
年度	R2	R3	R4	R5	R6
CKD診断あり	2,596	2,736	2,855	2,923	2,722
CKD診断なし	43	12	18	24	17
総数	2,639	2,748	2,873	2,947	2,739



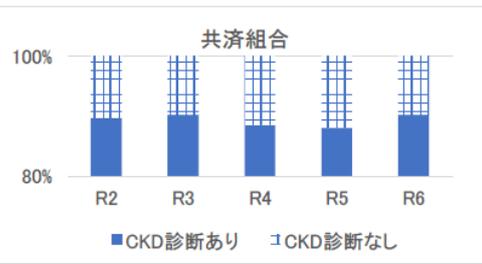
保険者	協会けんぽ				
年度	R2	R3	R4	R5	R6
CKD診断あり	71,114	57,406	61,643	60,389	63,201
CKD診断なし	3,506	1,388	1,289	1,337	1,145
総数	74,620	58,794	62,932	61,726	64,346



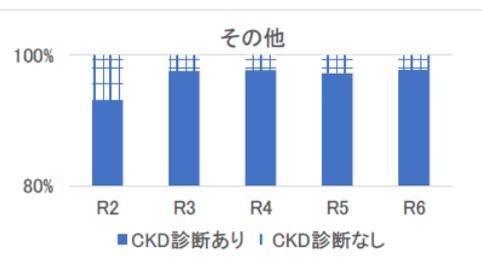
保険者	組合健保				
年度	R2	R3	R4	R5	R6
CKD診断あり	13,115	14,734	14,477	14,594	14,922
CKD診断なし	695	1,142	1,263	1,381	1,511
総数	13,810	15,876	15,740	15,975	16,433



保険者	共済組合				
年度	R2	R3	R4	R5	R6
CKD診断あり	1,389	1,220	1,275	1,330	1,653
CKD診断なし	159	132	165	182	179
総数	1,548	1,352	1,440	1,512	1,832



保険者	その他				
年度	R2	R3	R4	R5	R6
CKD診断あり	24,413	40,688	38,650	39,768	36,535
CKD診断なし	1,805	1,002	890	1,098	820
総数	26,218	41,690	39,540	40,866	37,355



健診機関においても、年々CDK 診断検査の保険者ごとの実施者割合はほとんどが90%を超え、CKD の早期介入にはつながっていると予想されますが、各保険者の被保険者である働く世代の方々、その扶養者の方々へ CKD 診断の必要性の周知とともに、各機関が連携し、健診受診率の向上にも努めることが大事になってきます。

参考：

健診における血中 Cr・尿潜血の測定			
	国保	協会けんぽ	
	特定健診	生活習慣病 予防健診	特定健診
血中 Cr	×	○	×
尿潜血	×	○	×
平成 21 年～			
血中 Cr	○	○	×
平成 26 年 4 月～			
血中 Cr	○	○	×
尿潜血	○	○	×
平成 28 年 4 月～			
血中 Cr	○	○	▲
尿潜血	○	○	▲

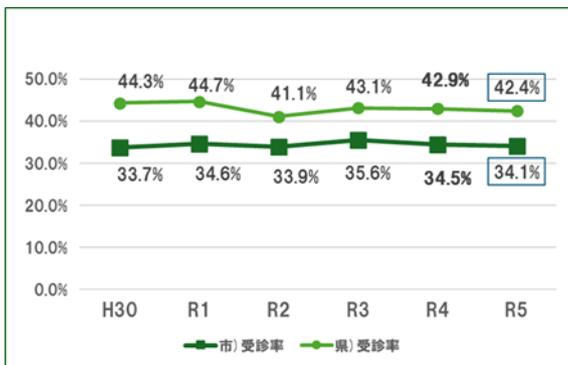
2. 協力団体の取組み

① 国民健康保険課

鹿児島市国保における R5 年度の特定健診受診率は 34.1%です。国の目標値は 60%ですが、図 1 の通り県平均の 42.4%にも及ばず、昨年度と比較しても受診率が低下している状況です。本市国保の健康課題の把握及び重症化予防対象者への早期介入のため、R6 年度は、右記のような受診率向上の取組を実施しました。

- R6 年度に実施した受診率向上の取組
- ◆新たなインセンティブの検討
 - ◆SMS を活用した受診勧奨
 - ◆機会を捉えて医療機関へ実態周知 (WEB 説明会の実施等)

鹿児島市国保の特定健診は、基本項目に加え、血清クレアチニンや尿潜血も無料で受診できる体制となっております。特定健診受診をお勧めし、CKD の早期発見につなげていただくと幸いです。



【図1】鹿児島市国保特定健診受診率

特定健診の結果、腎臓専門医紹介基準に該当した場合、郵送による受診勧奨の他、リスクの重なりがある方には、保健師等による保健指導を行っております。その際主治医の先生方へ、健診結果のご相談を勧めておりますので、必要な検査や腎臓診療医への紹介等ご検討をお願いいたします。

R5 年度特定健診における CKD 重症度分類別の腎臓専門医紹介基準該当者数は表 1 でご確認ください。

【表1】R5腎臓専門医紹介基準該当者数

原疾患	糖尿病		正常	微量アルブミン尿	顕性アルブミン尿			
	高血圧・腎炎など					正常	軽度蛋白尿	高度蛋白尿
	A1	A2						
尿検査・GFR 共に実施 24,950 人			(-) 21,283 人 85.3%	(±) 2,266 人 9.1%	【再掲】 尿潜血+ 以上 412 人 18.2%	(+) 以上 1,401 人 5.6%		
G1	正常 または高値	90以上	1,663 人 6.7%	1,414 人 5.7%	149 人 0.6%	24 人 16.1%	100 人 0.4%	
G2	正常または 軽度低下	60-90 未満	16,684 人 66.9%	14,517 人 58.2%	1,463 人 5.9%	269 人 18.4%	704 人 2.8%	
G3a	軽度～ 中等度低下	45-60 未満	5,779 人 23.2%	4,829 人 19.4%	564 人 2.3%	103 人 18.3%	386 人 1.5%	
G3b	中等度～ 高度低下	30-45 未満	713 人 2.9%	498 人 2.0%	79 人 0.3%	14 人 17.7%	136 人 0.5%	
G4	高度低下	15-30 未満	90 人 0.4%	25 人 0.1%	11 人 0.0%	2 人 18.2%	54 人 0.2%	
G5	末期腎不全 (ESKD)	15未満	21 人 0.1%	0 人 0.0%	0 人 0.0%	0 人 —	21 人 0.1%	

特定健診は定性検査のみであるため、定性検査と定量検査の違いについても保健指導の場で伝えていきたいと考えています。

G3a を G3b に移行させないことが重要と考えています。

R5 年度特定健診における腎臓専門医への紹介基準対象者は受診者全体の約 12%でした。尿蛋白陽性者は 1,401 人であり、優先的に介入する必要があります。

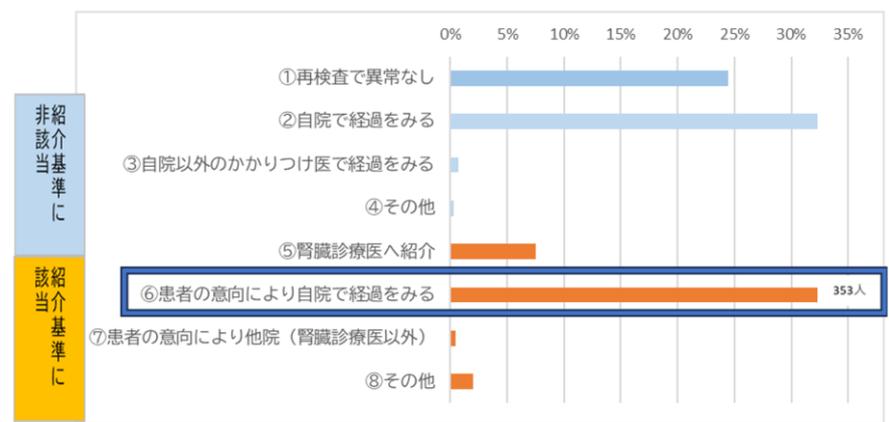
表3は特定健診結果からCKD予防ネットワーク腎臓診療医紹介基準に該当した件数とそのうち受診勧奨を行った件数を健診年度ごと集計したものです。また、様式3と様式0の受診件数についても、受理した年度ごとに集計しています。R5年度健診で受診勧奨を行った2,252名の分析は図2のとおりです。

紹介基準に該当しているが、患者本人の意向で腎臓診療医につながっていない方が32%います。

かかりつけ医のもとを離れ、腎臓診療医を受診することに抵抗を感じる方も多いと推測されるため、保健所と連携し、直接保健指導を行う機会がある方には、受診勧奨後の支援として、検査の数値はどうだったか、主治医からの説明をどのように受け止めているかなどを確認し、腎臓診療医へつなぐ後押しを行っていく体制を整えていきたいと考えます。

【表3】特定健診からのCKD受診勧奨対象者数について（国保）

		R1	R2	R3	R4	R5
特定健診 (法定報告)	対象者数	81,179	82,068	80,688	77,286	74,179
	受診者数	28,115	27,805	28,690	26,626	25,316
	受診率	34.6%	33.9%	35.6%	34.5%	34.1%
CKD予防 ネット ワーク	紹介基準該当者数	3,554	3,389	3,020	2,846	2,987
	受診勧奨件数	3,177	2,480	2,451	2,193	2,252
	様式3受診件数	506	356	256	273	277
	様式0受診件数	708	1,070	863	882	984



【図2】受診勧奨を行った2,252名のうち様式0が返ってきた1,093名の経過
※様式0はR6年度受理分を含む

●人工透析者数について

表4より、人工透析患者数は近年横ばいにみえますが、被保険者数100万対でみると増加していることが分かります。R1年度からの伸び率は同規模保険者3.2%に対し、本市は5.1%となっています。

【表4】人工透析患者数と人口比率

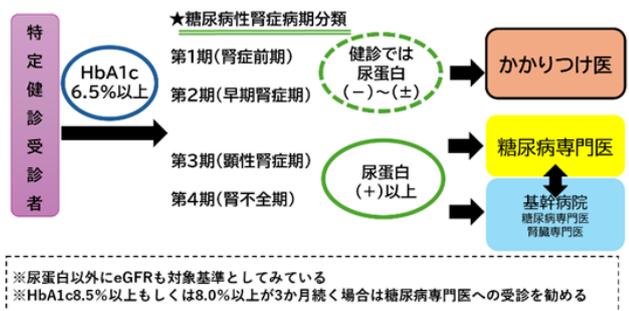
		R1	R2	R3	R4	R5	R1-R5 伸び率
鹿児島市 国保	患者数	678	684	696	659	648	5.1%
	被保険者数 100万対	5,621	5,708	5,918	5,778	5,907	
(参考) 同規模 保険者	被保険者数 100万対	3,429	3,500	3,544	3,543	3,538	3.2%

※KDBシステムより（同規模保険者とは同規模程度の被保険者数をもつ保険者平均をさす）

●糖尿病性腎症重症化予防について

新規人工透析導入患者の原疾患となる糖尿病性腎症の重症化予防を目的とした取組を推進するため、「鹿児島市糖尿病性腎症重症化予防対策推進協議会」を設置しています。R4年度以降、病診連携・かかりつけ医と連携した保健指導体系の運用を開始しておりますが、糖尿病性腎症病期分類第3期以上でも専門医へつながりにくい現状があります。その背景は様々であり、引き続き課題解決のために取り組んでいきます。

＜特定健診からの病診連携概要＞



②協会けんぽ

1. 令和5年度鹿児島市35歳以上の被保険者数及び生活習慣病予防健診受診者

令和4年度と比べ健診受診率は4.8%減少している。

	令和4年度	令和5年度
加入者数(35歳以上の被保険者数)	103,057	104,470
健診受診者数(生活習慣病予防健診)	58,802	49,497
健診受診率	52.2%	47.4%

2. CKD 重症化予防事業

令和5年度健診受診者への受診勧奨を、令和5年12月から令和6年10月の間実施した。

令和5年度健診受診者49,497名のうち受診勧奨対象者は、2018年ガイドライン基準で2,620名(該当率5.2%)、昨年度と比較し、0.9%増加となっている。

受診勧奨対象者のうち、リスクの高い749名へ通知文書による受診勧奨を実施した。

(1) CKD 受診勧奨該当者及び受診勧奨実施状況

	令和4年度	令和5年度
CKD 受診勧奨該当者数(2018ガイドライン基準)	2,497	2,620
CKD 受診勧奨該当率	4.3%	5.2%
受診勧奨通知発送数	762	749

<協会けんぽ鹿児島支部受診勧奨通知基準>

- ・尿蛋白(2+以上)
- ・尿蛋白(1+以上)かつeGFR 60mL/分/1.73m²未満
- ・40歳未満 eGFR 60mL/分/1.73m²未満
- ・40歳以上 eGFR 45mL/分/1.73m²未満

(2) 受診勧奨対象者の年齢階級別内訳(表3)2018年度ガイドライン基準

全体的に該当率が増加している傾向がある。

	総数	35~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~74歳
健診受診者数	49,497	6,396	16,434	14,293	10,173	2,201
受診勧奨対象者数	2,620	243	701	694	742	240
該当率	5.2%	3.7%	4.2%	4.8%	7.2%	10.9%
(参考) 令和3年度該当率	4.3%	3.0%	3.4%	4.0%	5.9%	9.8%

3. 未治療者受診勧奨事業(参考)

被保険者における健診受診者のうち、血圧・血糖・脂質に関する検査値が、下記の基準を1つ以上満たす未受診者、文書及び電話による受診勧奨業務を実施している。(協会けんぽ全体としての取り組み)

収縮期血圧	拡張期血圧	空腹時血糖	HbA1c	LDL コレステロール
160mmHg以上	100mmHg以上	126mg/dl以上	6.5%以上	180mg/dl 以上

令和5年度健診受診者への文書勧奨後10ヶ月以内の受診率は、39.3%であり、全国4位(全国平均33.9%)となっている。

③長寿支援課・長寿あんしん課

令和6年度の長寿健診受診者のうち、80歳以下で尿蛋白2+、またはe-GFR45未満の未治療者に対し、健診結果の経年表、e-GFRの経年グラフ、主治医宛て紹介状の作成を行い、医療専門職による訪問指導を実施した。

75歳以上の後期高齢者に対し、健診結果を見える化した保健指導、および紹介状作成による受診勧奨を行い、「様式0」の返却数が148件(R7年3月末時点)になり、(前年同月176件)CKDネットワークを活用した後期高齢者の受療促進につながった。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
被保険者数	77,807人	79,311人	85,481人	85,982人
健診受診者数	12,827人	13,281人	14,948人	15,704人
対被保険者数健診受診率	16.49%	16.75%	17.49%	19.6% (18.26%)

※令和6年度 令和7年3月31日時点受診分

※令和6年度から健診受診率は、被保険者数から長期入院者・施設入所者を除いた数を分母として算出。()内は今まで同様、除いていない数を分母として算出。

(重複含)	原則80歳以下(未治療)	訪問指導実施者
尿蛋白2+以上 またはe-GFR45未満	229人	249人 (R5継続支援者含)

(令和7年3月末時点)

④鹿児島県看護協会

具体的な取組	【令和6年度実施状況】	【令和7年度実施計画】
<p>まちの保健室 (山形屋看護展)</p>	<p>【日時】令和6年9月1日(日) 【場所】山形屋 【内容】 ・血管年齢測定 ・血圧測定 ・看護相談 ・お薬相談(薬剤師会) ・栄養相談(栄養士会) 【実施結果】 血圧測定 79名 血管年齢測定 126名 栄養相談 27名 お薬相談 9名</p>	<p>【日時】令和7年8月31日(日)予定 【場所】山形屋 【内容】 ・血管年齢測定 ・血圧測定 ・看護相談 ・栄養相談 ・お薬相談</p>
<p>市民健康まつりへの参加</p>	<p>【日時】令和6年10月26日(土) 【場所】宝山ホール 【内容】講演会のみ、イベント開催なし</p>	<p>【日時】令和7年10月12日(日)予定 【場所】西原商会アリーナ 【内容】 ・血圧測定 ・健康相談 ・血管年齢測定 ・子供向け看護師研修</p>
<p>CKD 啓発イベント「世界腎臓病デーin かがしま」への参加</p>	<p>【日時】令和7年3月15日(土) 【場所】鹿児島市中央公民館ホール 【内容】 ・血圧測定 ・体重・BMI 測定 ・サーチュレーション測定 【実施結果】 血圧測定・健康相談 36名 体重・BMI測定 34名 サーチュレーション測定 38名</p>	<p>【日時】令和8年3月頃 【場所】未定 【内容】 ・血圧測定 ・パネル展示 ・健康相談 ・体重・BMI 測定 ・サーチュレーション測定</p>
<p>【そのほか取り組み】</p>	<p>なし</p>	<p>予定なし</p>

⑤鹿児島県栄養士会

具体的な取組	【令和6年度実施状況】	【令和7年度実施計画】
CKD 啓発イベント 「世界腎臓デー in かごしま」への参加	【日時】令和7年3月15日(土) 【場所】鹿児島中央公民館ホール 【内容】 ・予防講演会 「腎臓を守るためにできる食事の工夫」 ・個別相談 ・展示ブース	【日時】未定 【場所】未定 【内容】未定
管理栄養士派遣制度	【利用施設】 1施設 【指導件数】 29件 【指導内容】 ・慢性腎臓病 ・糖尿病 ・高血圧 ・脂質異常症等	派遣制度利用促進 栄養ケアステーション機能 (人材紹介等)の促進
県民公開講座	【日時】令和6年11月24日(日) 【場所】知覧文化会館ホール 【内容】講演会・フリートーク 「慢性腎臓病(CKD)予防と食生活」	
研修会及び 関連事業への参加・協力	●CKD多職種連携の会 【日時】令和6年11月21日(木) ●CKD 予防ネットワークWeb研修会 【日時】令和7年2月11日(火) ●第2回糖尿病重症化予防連携強化研修会 【日時】令和7年2月13日(木)	●会員資質向上対策リレー研修会 【日時】令和7年10月18日(土) 【場所】宝山ホール第3会議室 【内容】 ・ナトカリ比について学ぼう ～適塩を目指そう～ ・糖尿病重症化予防の取組について ●糖尿病重症化予防事業・症例検討会 【日時】未定 【場所】未定
市民健康まつりへの協力・ 参加	【日時】令和6年10月26日(土) 【場所】宝山ホール 【内容】記念講演会	【日時】令和7年10月 【場所】未定 【内容】未定

⑥鹿児島糖尿病療養指導士会

具体的な取組	【令和6年度実施状況】	【令和7年度実施計画】
世界糖尿病デー・イベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ KCDE 会主催では開催なし ・ 2024 年 11 月 3 日（日） 「垂水産業祭り」参加協力 糖尿病に関する情報提供 SMBG、血圧測定、療養相談 ・ 2024 年 11 月 10 日（日） 「糖尿病予防キャンペーン西日本 in 鹿児島」参加協力 糖尿病に関する情報提供 SMBG、血圧測定、療養相談 	<p>糖尿病予防の啓発活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 地域のイベントに参加協力 世界糖尿病デー（11 月頃） ・ 糖尿病に関する情報提供 （パネル、チラシ） ・ 療養相談
CKD 啓発イベント「世界腎臓デー in かごしま」への参加	<p>令和7年3月15日（土） パネル等展示、療養相談 （スタッフ 4 名参加）</p>	<p>【日時】3 月頃 【場所】未定 【内容】パネル展示など</p>
研修会の開催	<ul style="list-style-type: none"> * 第 54 回コメディカルのための糖尿病セミナー開催 2024 年 12 月 21 日（土） 鹿児島国際交流センター ～地域における高齢患者との関わり～ 講演①小林由佳先生 （西田橋小田原病院 院長） 講演②園田紀之先生 （園田クリニック 院長） * 糖尿病重症化予防連携強化研修会への協力 ・2024 年 12 月 9 日（火）「徳之島地区」 ・2025 年 1 月 29 日（水）「出水地区」 ・2025 年 2 月 3 日（月）「曾於地区」 「事例検討、グループワーク」 （全て現地開催） 	<ul style="list-style-type: none"> * コメディカルのための糖尿病セミナー（予定） 【日時・場所・内容】未定 * 糖尿病重症化予防連携強化研修会への協力 ・事例検討、グループワーク

⑦鹿児島市薬剤師会

具体的な取組	【令和6年度実施状況】	【令和7年度実施計画】
CKD 啓発イベント 「世界腎臓デー in かごしま」への参加	<ul style="list-style-type: none"> 中央公民館での啓発活動 講話、パネル展示、お薬相談コーナー 	<ul style="list-style-type: none"> 【日時】未定 【場所】未定 【内容】 ・パネル展示 ・お薬相談コーナー
CKD 学術講演会の開催	<ul style="list-style-type: none"> 【日時・場所】 ・令和6年12月5日(木) 19:30～21:00 (WEB) 【内容】 ・鹿児島市 CKD 予防ネットワークの現状と今後、薬剤師に期待することについて ・登録薬剤師制度の現状と今後について 新規申請や変更届についての情報提供 ・エビデンスに基づくCKD診療ガイドライン 2023、CKD 診療ガイド 2024、KDIGO について ・心腎連関について 	<ul style="list-style-type: none"> 【日時】 ・令和7年11月予定 【場所】 未定 【内容】 ・薬剤師対象にCKDに関する研修会(年1回) ・CKD 登録薬剤師制度登録への働きかけ
お達者クラブでの 「薬の健康教室」にて CKD 啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> 【日時】令和6年7月～令和7年3月 【場所】市内全域の公民館等 【内容】 ・薬の正しい使い方、ジェネリック医薬品、かかりつけ薬局、お薬手帳、薬の副作用等について講話を行う健康教室の一部でCKD啓発を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 【日時】令和7年7月～令和8年3月 【場所】市内全域の公民館等 【内容】 ・薬の正しい使い方、ジェネリック医薬品、かかりつけ薬局、お薬手帳、薬の副作用等について講話を行う健康教室の一部でCKD啓発を実施する。
CKD シール	<ul style="list-style-type: none"> ・慢性腎臓病(CKD)患者のお薬手帳に貼っていただくCKDシールを、希望があった病院・保険薬局会員へ配布した。 ・CKDシールの改訂の検討を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・慢性腎臓病(CKD)患者のお薬手帳に貼っていただくCKDシールを改訂し、会員へ継続して啓発していく。
CKD 登録薬剤師制度	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿児島市によるCKD登録薬剤師制度の説明会への協力を行った。 ・登録薬剤師を増やすための呼びかけを行った。 ・ホームページのCKD登録薬剤師一覧情報に対する変更・更新の改善策の検討を行った。 ・CKD手帳改訂に伴うCKDトレーシングレポート改訂の検討を行った。 ・保険薬局による尿蛋白定量検査実施の可否について検討を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿児島市によるCKD登録薬剤師制度の説明会等への協力を行う。 ・引き続き、CKD登録薬剤師制度をいかしていけるよう市民に向けて啓発を行い、登録薬剤師を増やす取り組みを行う。 ・正確なCKD登録薬剤師一覧掲載のため、情報の更新を鹿児島市薬剤師会が実施する情報共有ツール(LINEのオープンチャットを想定)を使用してみる。 ・CKDトレーシングレポートを改訂し、活用を推進していく。 ・保険薬局による尿蛋白定量検査実施に向けて活動していく。 ・禁煙支援について、できることを検討・実施していく。
CKD 予防ネットワーク 研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿児島市 CKD 予防ネットワーク Web 研修会(2/13)について、当会ホームページへの掲載を行った。また、当会のCKD研修会を追加することにより、薬剤師研修センター単位を取得できるように手配し、会員へ案内を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> CKD 予防ネットワーク(地区別)研修会について、継続して薬剤師研修センター単位を取得できるように手配し、当会会員への案内及び当会ホームページへの掲載を行う。
健診啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ・健診機関との連携 ・県民総合保健センター、ヘルスサポート鹿児島にご協力をいただき、健診受診者に対してCKD早期発見、早期治療を目的に「保険薬局で健康診断の相談ができる」旨を掲載したポケットティッシュの配布を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き健診機関と連携をして配布を継続

3. 鹿児島大学の取組み

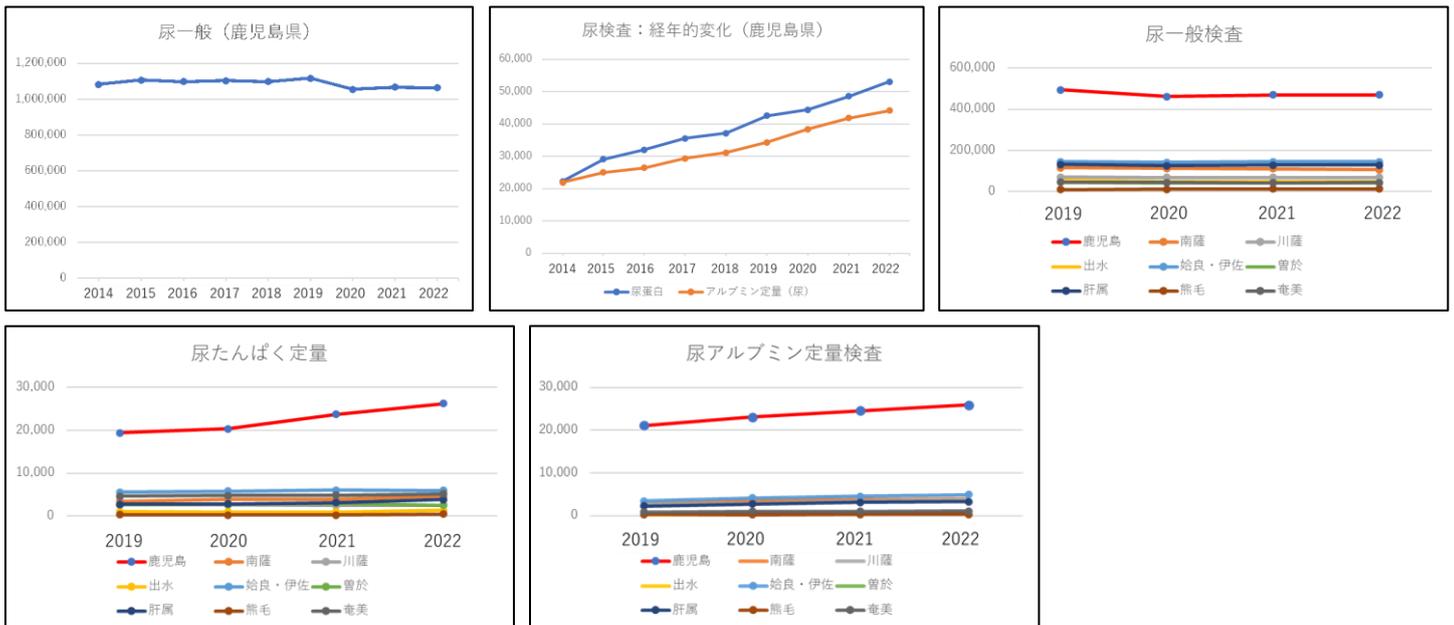
鹿児島大学衛生学・健康増進医学の取組(2024年度)

鹿児島市CKD予防ネットワークの評価について

【はじめに】鹿児島市 CKD 予防ネットワークは、2014 年から開始され、一定の体制が整ったところである。体制が整うとともに、このネットワークの評価としてアウトプット指標やアウトカム指標を設定することが求められている。アウトカム指標としては、例年実施されている「新規透析導入患者数」が用いられる。一方、アウトプット指標としては、腎臓診療医や CKD 登録医、CKD 登録薬剤師の数が挙げられる。ここでは、その他の指標として、NDB オープンデータを利用して、尿たんぱく定量検査や尿アルブミン定量検査件数を利用することの可能性を記載する。

【方法】2025 年 1 月現在、第 1 回～第 9 回の NDB オープンデータベースを利用した。対象年度としては、2014 年から 2022 年であり、当該予防ネットワークの開始年次である 2014 年からのデータであった。鹿児島県全体と二次医療圏別のデータ(2019 年～2022 年)のデータも利用した。(NDB オープンデータベースの二次医療圏データは、2019 年からである)

【結果】県レベルで見た場合、尿一般検査は、外来受診者数と関係し、2020 年に件数が減少しているが、コロナ感染症の影響と考えられた。一方、尿検査(蛋白定量検査、アルブミン定量検査)は、一定の割合で増加した。二次医療圏のデータでも、鹿児島医療圏(鹿児島市、いちき串木野市、日置市)は同様の傾向を示した。他二次医療圏では、尿たんぱく定量検査、尿アルブミン検査いずれも、件数が増加しているところと横ばいのところが認められた。



【考察】NDB オープンデータベースを利用して、尿検査件数の動向を知ることができた。尿一般検査が横ばいまたは減少傾向にあるにもかかわらず、尿蛋白や尿アルブミン定量検査が増加していることは、鹿児島県全体の CKD や糖尿病性腎症に関する医療における意識の変化を表しているかもしれない。また、二次医療圏の結果において、鹿児島医療圏も同様の結果を示した。いずれにしても、尿定量検査の件数の増加は、治療対象の CKD を適切に抽出することにつながると考えられ、本指標は、CKD 予防ネットワークにとっても間接的な評価指標になる可能性が示唆された。

【結論】本指標(尿蛋白や尿アルブミン定量検査件数)を用いることで、鹿児島県や二次医療圏別の CKD 予防に関する意識の高さを評価できる可能性があると考えられた。

4. 健診機関からのご報告

ヘルスサポートセンター鹿児島

ヘルスサポートセンター鹿児島
令和6年度のご報告

令和6年度の受診者は、122,705名でした。昨年度より321名減少していました。令和6年度は70歳以上の受診者が減少したようです。令和6年度のeGFR 60ml/min/1.73m²未満のかたは、全体の11.3%で前年度より増加しています。年齢別にみますと、腎機能低下者は例年通り50歳台より急増していますが、各年代とも昨年度より増加してきています。特に70歳以上は男女とも、腎機能低下者の割合が高い結果となっています。30歳代から何らかの予防活動を行う必要もありそうですが、特に男性へのアプローチが必要そうです。

表 令和5年度 腎機能低下の割合

腎機能低下者がどの程度、医療機関に通院しているのか判明していませんが、自覚症状のないうちに、自らの腎機能低下に気づいて、生活習慣を見直し、主治医に報告して改善についてのアドバイスを頂くように保健指導が必要です。

		30歳未満	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
男性	受診者数(A)	9,704	13,357	16,495	15,436	11,814	3,501	70,307
	eGFR60未満者数(B)	20	171	895	2,364	3,203	1,466	8,119
	割合%(B)/(A)	0.2	1.3	5.4	15.3	27.1	41.9	11.5
女性	受診者数(A)	8,056	8,959	11,514	11,534	9,099	3,236	52,398
	eGFR60未満者数(B)	19	79	536	1,610	2,225	1,297	5,766
	割合%(B)/(A)	0.2	0.9	4.7	14.0	24.5	40.1	11.0
総計	受診者数(A)	17,760	22,316	28,009	26,970	20,913	6,737	122,705
	eGFR60未満者数(B)	39	250	1,431	3,974	5,428	2,7630	13,885
	割合%(B)/(A)	0.2	1.1	5.1	14.7	26.0	41.0	11.3

今後も産業保健や特定保健指導などの健診の事後措置の枠組みの中で、CKDについての啓発運動を進めていく予定です。

県民総合保健センター

●令和6年度の取り組み

巡回型健診及び施設内健診にて CKD 診断検査を受診したのは、男性 23,975 人、女性 21,557 人、合計 45,532 人でした。

eGFR60ml/分/1.73 m²未満の割合と尿蛋白(+)・尿蛋白2(+)以上の割合は、男女ともに年齢が上がるにつれて増加傾向にあり、また男性は女性より高率となっています。男女合計で見ますと、eGFR60ml/分/1.73 m²未満の方が 50 歳代で 21.6%に急増し、70 歳以上では 43.7%に腎機能低下を認める状況です。この eGFR60ml/分/1.73 m²未満の割合はここ数年増加しつつあることから、健診と共により一層の CKD 予防の必要性が示唆されます。

●次年度に向けて

引き続き、健診の必要性及び CKD 診断検査の重要性を広く周知することが重要です。また、CKD 受診者に対しては検査結果を生かした予防行動がとれるよう、特定保健指導や糖尿病重症化予防を目的とした保健指導等を通じて支援に努めます。

eGFR60未満及び尿蛋白(+)2(+)以上の対象者

性別	項目	30歳未満	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計
男性	CKD受診者数	2,433	3,988	4,797	4,277	3,976	4,504	23,975
	eGFR60未満者数	9	79	363	1,117	1,225	2,103	4,896
	割合(%)	0.4	2.0	7.6	26.1	30.8	46.7	20.4
	尿蛋白(+)以上	47	65	104	113	154	321	804
	割合(%)	1.9	1.6	2.2	2.6	3.9	7.1	3.4
	尿蛋白2(+)以上	4	15	47	41	53	133	293
割合(%)	0.2	0.4	1.0	1.0	1.3	3.0	1.2	
女性	CKD受診者数	2,731	2,887	3,853	3,955	3,610	4,521	21,557
	eGFR60未満者数	5	21	179	657	911	1,841	3,614
	割合(%)	0.2	0.7	4.6	16.6	25.2	40.7	16.8
	尿蛋白(+)以上	92	67	63	71	47	165	505
	割合(%)	3.4	2.3	1.6	1.8	1.3	3.6	2.3
	尿蛋白2(+)以上	21	14	16	23	16	46	136
割合(%)	0.8	0.5	0.4	0.6	0.4	1.0	0.6	
合計	CKD受診者数	5,164	6,875	8,650	8,232	7,586	9,025	45,532
	eGFR60未満者数	14	100	542	1,774	2,136	3,944	8,510
	割合(%)	0.3	1.5	6.3	21.6	28.2	43.7	18.7
	尿蛋白(+)以上	139	132	167	184	201	486	1,309
	割合(%)	2.7	1.9	1.9	2.2	2.6	5.4	2.9
	尿蛋白2(+)以上	25	29	63	64	69	179	429
割合(%)	0.5	0.4	0.7	0.8	0.9	2.0	0.9	

CKD受診者数:eGFRと尿潜血検査の両方に受診がある方

鹿児島厚生連病院 健康管理センター

●令和6年度の取り組み

令和6年度に当施設で行った施設内健診および巡回健診の受診者のうち、CKD 検査を行った鹿児島市の受診者数は 27,444 人でした。このうち、腎機能低下 (eGFR 60ml/min/1.73m² 未満) の方は、男性 2,193 人 (13.9%)、女性 1,282 人 (11.0%)、合計 3,475 人 (12.7%) でした。また、尿蛋白 (+) 以上の方は、合計 512 人 (1.9%)、尿蛋白 (2+) 以上の方は、合計 125 人 (0.5%) でした。腎機能低下 (eGFR 60ml/min/1.73m² 未満) の方の年齢別割合を見ますと、40 歳未満においては男女ともに 2.0% 以下でしたが、40 歳を越えると急に増加し、さらに年齢が上がるにつれてさらに増加していました。特に 70 歳以上の男性では、腎機能低下の方の割合が 44.2% と、約半数に迫る数でした。

●次年度に向けて

CKD の原因として、高血圧症と糖尿病は重要な疾患です。次年度におきましても、特定健診の機会を利用して、CKD の理解を深める努力はもちろんのこと、高血圧症と糖尿病の重症化を予防するため、栄養指導・運動指導・自己血圧測定を推し進めてまいります。

性別	項目	30 歳未満	30~39 歳	40~49 歳	50~59 歳	60~69 歳	70 歳以上	計
男性	CKD 受診者数	1554	2462	3591	3693	2853	1646	15799
	eGFR60 未満者数	7	27	183	532	716	728	2193
	割合 (%)	0.5%	1.1%	5.1%	14.4%	25.1%	44.2%	13.9%
	尿蛋白 (+) 以上	38	50	56	75	63	63	345
	割合 (%)	2.4%	2.0%	1.6%	2.0%	2.2%	3.8%	2.2%
	尿蛋白 (2+) 以上	4	4	13	25	14	22	82
	割合 (%)	0.3%	0.2%	0.4%	0.7%	0.5%	1.3%	0.5%
女性	CKD 受診者数	1335	1790	2657	2606	1888	1369	11645
	eGFR60 未満者数	2	4	85	304	414	473	1282
	割合 (%)	0.1%	0.2%	3.2%	11.7%	21.9%	34.6%	11.0%
	尿蛋白 (+) 以上	25	31	47	33	16	15	167
	割合 (%)	1.9%	1.7%	1.8%	1.3%	0.8%	1.1%	1.4%
	尿蛋白 (2+) 以上	3	10	15	7	5	3	43
	割合 (%)	0.2%	0.6%	0.6%	0.3%	0.3%	0.2%	0.4%
合計	CKD 受診者数	2889	4252	6248	6299	4741	3015	27444
	eGFR60 未満者数	9	31	268	836	1130	1201	3475
	割合 (%)	0.3%	0.7%	4.3%	13.3%	23.8%	39.8%	12.7%
	尿蛋白 (+) 以上	63	81	103	108	79	78	512
	割合 (%)	2.2%	1.9%	1.6%	1.7%	1.7%	2.6%	1.9%
	尿蛋白 (2+) 以上	7	14	28	32	19	25	125
	割合 (%)	0.2%	0.3%	0.4%	0.5%	0.4%	0.8%	0.5%

5. 鹿児島市保健政策課(事務局)の取り組み

研修会

CKD 予防ネットワーク研修会

日 時:令和7年2月13日(木) 19時~20時
開催方式:オンライン開催

鹿児島市CKD予防ネットワーク Web研修会

日時 2025年2月13日(木) 19:00~20:00
形式 Web配信 | Zoom
配信会場 | 協賛:ナリン株式会社 鹿児島営業所
鹿児島市中央区1-12-1 TEL:099-223-2700

第1部
19:00~19:20
鹿児島市CKD予防ネットワークの課題と未来への展望

座長 鹿児島大学病院 腎臓内科 助教 吉嶺 陽仁 先生
講師 鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 衛生学・健康増進医学分野 教授 堀内 正久 先生

第2部
19:20~20:00
佐賀県におけるCKD対策と医療連携の取り組み内容

座長 鹿児島大学病院 腎臓内科 助教 吉嶺 陽仁 先生
講師 佐賀大学医学部付属病院 腎臓内科 准教授/診療教授 宮園 素明 先生

協賛:鹿児島市CKD予防ネットワーク協議会、公益社団法人鹿児島市医師会、協賛:ナリン株式会社
鹿児島市医師会、鹿児島県保健福祉部健康推進課

協賛:ナリン株式会社
協賛:ナリン株式会社
協賛:ナリン株式会社

内 容: 座長 鹿児島大学病院 腎臓内科 助教 吉嶺 陽仁先生
I. 鹿児島市 CKD 予防ネットワークの課題と未来への展望
鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 衛生学・健康増進医学分野 教授 堀内 正久先生
鹿児島市 CKD 予防ネットワーク会議委員長 堀内 正久先生
II. 佐賀県における CKD 対策と医療連携の取り組み内容
佐賀大学医学部付属病院 腎臓内科 准教授/診療教授 宮園 素明 先生

参加者(全県)

医師	薬剤師	保健師	栄養士	看護師	その他	合計
78人	107人	29人	20人	13人	8人	265人

CKD 予防ネットワーク登録薬剤師向け研修会

日 時:令和6年12月5日(木)19時30分~21時
開催方式:オンライン開催

内 容:座長 西川 弘剛 先生
I. CKD予防ネットワーク登録薬剤師について
鹿児島市薬剤師会 常任理事 西川 弘剛先生
II. 鹿児島市 CKD 予防ネットワークについて
鹿児島市保健政策課健康づくり係
III. CKD 診療ガイド 2024 と KDIGO ガイドライン 2024 の話題
鹿児島大学病院 腎臓・泌尿器センター 腎臓内科 吉嶺 陽仁先生
IV. 心腎連関患者の薬物治療最適化を考える
社会医療法人天陽会中央病院 循環器内科部長 加治屋 崇先生

参加者:138人

2024.12/5 (木) 19:30-21:00

令和6年度第3回鹿児島市薬剤師会産業保健研修会
~CKD予防と早期介入を目指す薬剤師の役割~

・19:30-19:40

「CKD予防ネットワーク登録薬剤師について」

演者 西川 弘剛 先生 鹿児島市薬剤師会 常任理事

・19:40-19:50

「鹿児島市CKD予防ネットワークについて」

演者 野田 友 先生 鹿児島市保健部保健政策課

座長 西川 弘剛 先生 鹿児島市薬剤師会

・19:50-20:25

「CKD診療ガイド2024とKDIGOガイドライン2024の話題」

演者 吉嶺 陽仁 先生
鹿児島大学病院 腎臓・泌尿器センター 腎臓内科 助教

・20:25-21:00

「心腎連関患者の薬物治療最適化を考える」

演者 加治屋 崇 先生 社会医療法人天陽会 中央病院
循環器内科 部長

接続方法 本研修会は、Zoomを用いてご開催いたします。
参加URLは鹿児島市薬剤師会からご提供いたしますので、下記URLもしくは二次コードより
参加ください。

イベント番号: 926 4957 0088
パスワード: 433107

https://x.gd/NpvMq



講習会の開催をソーシャルメディア等に投稿することはご遠慮下さい。
個人情報が含まれる写真や動画は本会の目的のために使用させていただきます。

共催: 鹿児島市CKD予防ネットワークプロジェクト会議
鹿児島市薬剤師会
日本ベーリンガーインゲルハイム(株)

